

平成 2 5 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	若澤寺史跡現地整備事業
事業主体 (連絡先)	若澤寺史跡保存会 松本市 波田 4 5 3 0
事業区分	⑤環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	5, 8 7 5, 8 5 0 円 (うち支援金: 2, 5 9 1, 0 0 0 円)

事業内容

地域が誇れる貴重な史跡を、荒廃させることなく後世に伝え残すために、現地整備事業及び地域住民を取り込む啓発活動を実施。

- ・支障立木の伐採 (更地化)。 9 月～翌年 3 月
- ・講演会を 4 月 27 日と 11 月 16 日の 2 回波田公民館で開催 延 83 名参加
- ・波田まちづくり協議会で「若澤寺史跡」の事例発表 H26 年 1 月 20 日 波田公民館 120 名参加



支障木伐採中

事業効果

- ① 史跡内の植林された立木を、支援金活用により伐採し、更地になったことで建設当時の大寺院跡が出現し景観が一新した。
- ② 波田小、中学校の課外授業に史跡見学が組入れられ、また波田地区のウォーキングコースに指定されるなど、史跡利用 (見学) 者が 88% 増加した。
- ③ 史跡の接続林道に路肩の破損等危険箇所があり、松本市に見学者の増加、安全性を説明し、市の事業で補修工事が行われ、危険箇所の解消になった。

※ 1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

【目標・ねらい】

- ① 史跡内主要施設跡地の更地化
- ② 現地見学者の増加
- ③ 地域住民への啓発

今後の取り組み

※ 2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

草刈り等定期的な維持管理及び、支障木の伐採による環境整備を継続し、案内板、説明板の設置、パンフレットの作成等現地見学者の利便性を向上させ、波田地区の誇りである文化財を後世に伝え残す活動に取り組む。

※ 1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※ 2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある